

令和7年度ひとり暮らし高齢者等見守り活動に関する知事表彰 受賞者の概要

1 地域団体

○ 東甲塚区福祉部会ボランティアの会（みやこ町）

特 徴	生きがい集いの場としての「いきいきふれあいサロン」と、誰もひとりにさせないことを目標とした「独居年長者及び高齢者世帯への声掛け見守り訪問活動」を、地域性に合わせて両立した活動
構 成 員	6 人（東甲塚区福祉部会ボランティアの会）
活 動 年 数	13 年 8 月（R7. 11. 1 現在）
主な活動内容	・月4回、ひとり暮らし高齢者等の自宅へ訪問活動を実施し、定期的に見守り対象者の状況把握を行っている。特に気になる方については、年に2回訪問者による会議を開き、遠方の家族や福祉専門職へつなぐ等している。 ・訪問対象者のリストを作成し、訪問協力者が誰を見守ったかを記録し、メンバーと共有を図っている。また、2年ごとに交代する区長にも見守りメンバーに入ってもらうことで、区内の情報共有につなげている。 ・訪問活動を行う中で、少し支援が必要になってきた高齢者に対し、介護保険申請に至る前に、行政サービスや社会福祉協議会につなぎ、独居や高齢者のみ世帯でも住み慣れた自宅で生活できるようにつなげている。 ・サロン内で、行政や社協、地域包括支援センターによる講座を開き、新しい制度施策についても学んでいる。健康寿命を延ばす等高齢者が興味を持つ題目にすることで、我が事として考える機会としている。 ・町内居宅介護事業者の集まりであるケアマネ連絡会と協力し、要介護状態になっても住み慣れた地域で暮らすことを目標に、介護保険制度とのつながりも考えて活動している。



【ケアマネージャーによる研修会】

○ 美和台校区社会福祉協議会（福岡市東区）

特 徴	ふれあいネットワークとふれあいランチによる重層的な見守り活動を実施
構 成 員	94 人（ふれあいネットワーク）、14 人（ふれあいランチ） （校区社協、民生委員、自治会長、公民館、ボランティア 等）
活 動 年 数	31 年 8 月（R7.11.1 現在）
主な活動内容	・ 閉じこもりがちな高齢者宅へ週 2 回お弁当を宅配する「ふれあいランチ」を行っている。お弁当は手渡しで行うことで、安否確認及び利用者の変化にも早い段階で気づくことが可能となっている。また、お弁当の調理は、近隣校区の高齢者福祉施設が担当し、31 年間もの協力体制を築いており長年の連携体制を継続している。 ・ 町内会長や民生委員等で構成されたボランティアによる「ふれあいネットワーク」では、28 年間見守り活動を実施。気になる対象者には、安心情報キットを配布し、見守りの質の向上を図っている。 ・ 「ふれあいサロン」を 11 か所で開設し、地域の高齢者に通いの場を提供することで、地域住民の交流の機会創出に努めている。 ・ 「買物に困難を感じている」という地域の方の声を受け、福岡市内の移動販売協力事業者と連携し、校区内 13 か所で移動販売を実施。販売箇所では、住民同士の交流が生まれ、利用がない場合は安否確認をするなど見守り活動につながっている。 【ボランティア会議の様子】

○ 飯倉校区社会福祉協議会（福岡市早良区）

特 徴	SNSを活用し、企業等と連携した見守り活動を実施
構 成 員	125 人 (町内会長、民生委員・児童委員、ふれあいネットワークボランティア)
活 動 年 数	26 年 5 月 (R7.11.1 現在)
主な活動内容	・業務で高齢者宅を訪問する企業等へ見守り活動の協力依頼を行い、民間企業と連携した見守り活動を実施。 ・協力企業から連絡を受けた際は、SNS を活用し、飯倉校区社会福祉協議会事務局から各町内へ連絡が行く体制を構築している。 ・年 1 回、ひとり暮らし高齢者等を対象にお弁当の配布を行い、安否確認や関係性の構築を図るとともに、お弁当に地域包括支援センターのチラシ等を同封し、相談先の周知を図っている。 ・年 2 回開催する高齢者地域支援会議に見守りボランティアが全員参加し、企業等との連携についてグループワークを行うなど、校区全体で高齢者支援に取り組む風土づくりを行っている。 ・買い物支援に関する高齢者のニーズ調査を実施し、特にニーズが高かった町内で、買い物支援イベントを開催するとともに、集会所を月 1 回カフェとして開放し、高齢者の交流や外出機会の創出、安否確認につなげている。  【高齢者支援を考える会】

○ 元岡校区社会福祉協議会（福岡市西区）

特 徴	区役所と連携した「見守りマップ」、「個別避難計画」の策定で、見守り対象者の支援を強化
構 成 員	71 人（民生委員・児童委員、町内会長、老人クラブ）
活 動 年 数	25 年 10 月（R7.11.1 現在）
主な活動内容	・区役所から助言を受けて、「見守りマップ」及び「個別避難計画」を策定。毎年更新し、町内ごとで最新情報の共有を図り、見守り対象者への支援につなげている。 ・元岡校区「ふれあいネットワーク推進協議会」では自治会や老人クラブ、民生委員、消防団のほか、PTAや子ども会育成連合会など、多岐にわたる団体を構成メンバーとすることで、将来の担い手づくりを意識した連携を実施している。 ・地域包括支援センターの協力のもと、認知症に関する研修会を実施。今後増えていくことが予想される認知症の方への見守りについての対応力向上に努めている。 ・校区にある日常生活支援ボランティアグループ「まごの手」と連携し、高齢者への見守りも兼ねて、庭木の剪定や草取りといった生活支援活動を実施している。  【見守りマップ作成】

○ 三筑校区社会福祉協議会（福岡市博多区）

特 徴	災害時に備えた平常時の見守り体制の構築
構 成 員	93 人（町内会長・自治会長、民生委員、各種団体、ボランティア）
活 動 年 数	29 年 3 月（R7.11.1 現在）
主な活動内容	・11 町内全てでふれあいネットワークが実施され、民生委員を中心に、町内会やシニアクラブ等の各団体が横断的に協力する体制を構築し、月 2 回の見守り活動を実施している。 ・自治協、民生委員・児童委員など地域福祉関係者の協力を得て「見守りマップ」を作成。毎年更新し、活動員が情報を共有することで、効率的な見守り活動を実施している。 ・毎年 9 月開催の「高齢者ふれあい交流会」では、警察官による交通安全講習、特殊詐欺防止等の講話を行い、高齢者の方へ注意喚起や啓発を実施するとともに、災害時に備えた見守り体制の構築に資する研修会を開催し、地域の安心につながる取り組みを実施している。 ・年 3 回開催している「さんさんカフェ」では、地域住民の交流の場を提供することで、地域でお互いに顔が見える関係づくりを構築している。  【毎年集まって研修会を実施】

○ 中区福祉部（大野城市）

特 徴	「向こう三軒両隣」を合言葉にした地域ネットワークの再構築を目的とした見守り活動
構 成 員	41 人（福祉推進委員、民生委員・児童委員、ボランティア）
活 動 年 数	37 年（R7. 11. 1 現在）
主な活動内容	・ 中区を 8 班に分け、各班 4～8 名のボランティアが民生委員・児童委員からの情報を共有し、支援の必要性を確認しながら、「向こう三軒両隣」を合言葉に訪問活動を実施。不在の方には、「ぬくもり用紙」で安否確認を行っている。 ・ 訪問時の見守り対象者の状態は「ふれあいカード」で記録、管理し、効率的に活動できるよう工夫している。 ・ 社会福祉協議会、地域包括支援センターと連携し、年 1 回の見守り研修会を開催し、活動員の資質の向上に努めている。 ・ 高齢者の閉じこもり防止のため、花見・クリスマス会などの季節行事を開催するとともに、「音楽サロン」や「足元気教室」などを定期的実施することで、地域住民との交流、孤立防止を図っている。 ・ 地域包括支援センターと連携して、移動スーパーの受け入れを行い、地域の高齢者の生活を支える取り組みを行っている。 【中区かたろう会 Xmas 会】

○ 篠山りんどうの会（久留米市）

特 徴	季節に合わせた食事サービスによる見守り活動
構 成 員	30 人（校区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、自治会、女性の会、老人クラブ、一般ボランティア）
活 動 年 数	36 年 8 月（R7.11.1 現在）
主な活動内容	・見守り対象者一人当たり月平均 16 回の見守りを行うなど精力的な見守り活動を実施し、地域の高齢者の安全安心に貢献している。 ・見守り時に合わせて、りんどうの会主催の集いの場へのお誘いや、地域行事への案内を行うことで、地域との交流の場への参加を促している。 ・毎月、りんどうの会の定例会や、校区社協と民児協との合同情報交換会を行うことで、見守りの網を細かくすると同時に、よりタイムリーな情報交換を意識して活動している。 ・見守りを兼ねた安否確認や近況を知る機会として、年 5～6 回、食事会の開催や配食を実施。食事会では、フレイル予防チェックや防災に関する DVD の視聴などを通じて、高齢者の学びも促進している。 ・クリスマス会や餅つき大会など季節行事を積極的に取り入れ、地域の高齢者の交流の場の創出に取り組んでいる。 【ふれあい食事会の様子】